



農大二中進路通信

令和6年12月9日(月)
第13号 農二進路指導部

復習が大切

2学期の期末テストが終わりましたね。この数週間、一生懸命勉強に取り組んだ努力は大変素晴らしいものです。今後できるようになるかできないかには本当に紙一重です。この線を越えられるかで今後どうなるかが決まります。それは、「復習をやりません(線)」という線です。テストが終わった今だからこそ、復習が大切になります。テストを振り返ることで、自分の得意なところと苦手なところが見えてきます。間違えた問題をそのままにせず、どのように考えれば正解にたどり着けるか、しっかり確認していきましょう。

今回の中2の英語のテストで中間テストと単語を若干変えただけのほぼ全く同じ問題(受動態)を出しました。以下はその具体的な例です。

中間テストでは、「私は家に帰る途中でにわか雨にあいました。」と()内に単語を入れる問題を出題しました。

I () a shower on my way home.

期末テストではほぼ同じ感じで、「彼女は学校に来る途中でにわか雨にあいました。」

She () a shower on her way to school.

という問題を出しました。しかしながら、この問題の正解率は、23%と約4人に1人しか正解できていませんでした。また、他の並び替え問題でも

中間テストでは

(this / did / when / building / be / built / will)? *1語多い

期末テストでは

(this / did / when / supermarket / be / built / will)? *1語多い

と出題しました。見てわかるように、building を supermarket にしただけです。しかしながら、正答率は、19%と5人に1人しか正解できませんでした。

なぜ、このような同じ問題を出したかという、普段の学習の中で、みなさんの勉強のやり方に危機感を覚えたからです。「復習をしない。」「解説を聞いて分かった気になる勉強」です。勉強は「できなかったものをできるようにする」ということを常に言っています。普段の学習においても、できないことを放置せず、わかるまで自分で考えるのもいいし、他人に教えてもらいながら、理解を深めることが大切です。「わかる」ようにするのは我々の役目ですが、「できる」ようになるのはみんなの授業外での頑張りです。家庭学習なしでできるようになるのは生まれながらの天才です。どんなに優秀と言われている人でも必ずその裏には多大な努力があるはずです。自分でもう一度自分の学習スタイルを見直し、改善を図ってください。

2学期も残りわずかです。今学期を振り返り、自分の学習や生活を総括してみてください。「できたこと」「もう少し頑張りたかったこと」を明確にすることで、次のステップが見えてきます。3学期は、次の学年に向けてさらに成長する大事な時期です。この2学期の経験を糧にして、次へとつなげていきましょう。皆さんの努力は必ず実を結びます。一步一步、確実に前進していきましょう！

中2 NI探究ワークショップ 農大 高久先生

11月11日(月)の5、6時間目に本校武揚ホールにおいて、「Nano suit法によるリアルな生物微細構造の観察」という演題のもと、学校法人東京農業大学農学部デザイン農学科より高久康春先生にご講演いただきました。ナノスーツ法とは、生物を生きた状態で細部まで観察する手法で、バイオメティクス(新幹線のノーズにカワセミのクチバシが模倣されている等)に応用されています。生徒たちは高久先生の研究を熱心し聞き、その応用可能性に感動していました。



中1 NI探究 Field Work ナバファーム

11月13日(水)に妙義ナバファーム様のご協力のもと、中等部1年生が校外研修を行いました。はじめに「しいたけの収穫体験」を行いました。その後の農場見学では、しいたけの菌床が作られる様子や、収穫されてから出荷されるまでの行程を、担当の方に説明していただきながら見学しました。見学の後、生徒たちは一人ひとりの菌床を持ち帰りました。今後は、自宅で栽培・観察を行います。この研修は、11月6日(水)に行われた東京農業大学の江口文陽先生によるご講演の続きであり、学んだことを実際の現場に行き学ぶという体験的な学びに生徒たちは大興奮な様子でした。以下は生徒たちの感想です。



>きのこを作っているところ、菌床に入れる栄養(米ぬか、フスマなど)、パックに入れるところを見学させてもらった。→きのこに刺激を与えるのに音楽を聞かせている所があるというのに驚いた。



>菌床を作るところと菌を入れた菌床を置いておく倉庫のようなところの二つを見学し、その後、しいたけとキクラゲを収穫しました。それを見て、普段何気なく見ているきのこだけれども、裏ではこんなにたくさんの人たちが働いていて、その仕事はとても大変なものであると知り、その人たちに感謝の気持ちが湧きました。



>きのこのでき方、菌の種類を表し方、収穫の仕方、きのこも生きていて、呼吸をしているなど、さまざまなことが学べました。

>たくさんのロボットを使ったり、きのこが最大限、良い品物になるようにしているのだと感じました。一つのキノコを栽培するまでの間、たくさんの工程があり、大変なお仕事だと感じました。作業をしていて、きのこを収穫するのに意外と時間と手間がかかるのだなと思いました。

中2 English Campで国際交流

11月13日(水)~14日(木)の2日間、中学2年生は英語・グローバル教育としてイングリッシュキャンプを行いました。この研修では、日常生活の中で英語を使う体験を通して、コミュニケーションの大切さを学びました。1日目はTokyo Global Gatewayで、空港での手続きやレストランでの注文といった場面を想定した実践的な活動を行い、英語で自分の意思を伝える経験を積みました。2日目は「イングリッシュエスコート」として、留学生を東京観光に案内しました。生徒たちは事前に計画した観光プランに基づき、浅草や秋葉原を巡りながら日本の文化を英語で紹介しました。この2日間を通じて、生徒たちは「普段の勉強がこういう場面で役立つ」という実感を得ると同時に、英語がコミュニケーションの重要なツールであることを体験しました。実際に生徒の感想からもそれがわかります。

- > TGGではさまざまなシチュエーションを英語で経験したり、いつもの英語の授業で行っていることや普段の勉強をたくさん活かすことができました。現在勉強している「現在完了」などを使って伝わったときはすごくうれしかったです。
- > have+p.pの文法が使えたり、過去の英語で学習した表現を使うことができました。
- > TGGではいつもの英語の授業で習う英文法をどれだけ早く思い出して、相手にしっかり伝えられるかが大切なんだなと思いました。

ただ、同時に、留学生のエスコートで全然文法が頭に出てこなくて、悔しい思いをしたという生徒もいました。そんな生徒も、「これからはもっと英語をコミュニケーションに使えるくらいまで1つ1つ勉強していきたい」という決意を感想で述べていました。

そして、こちらが見ていて感じたみなさんに対しての大きな成長は英語を話す(使う)ということに対するバリアが低くなっていることです。外国人と話すことに抵抗なく、そして、自分たちが思っている以上にコミュニケーションがとれたことが大きな成長だったと思います。以下の生徒の感想からもわかるように、英語への自信を感じられたようです。

- > 私は最初英語が話せるか、何もできずに2日間が終わってしまうのではないかと心配でした。ですが、1日目、2日目としっかり自分の言いたいことをカタカナ英語でしたが、ジェスチャーを使いながら伝えられました。
- > 留学生と待ち時間に2人で30分以上話した入り、外国人観光客に話しかけられたりしましたが、ちゃんと話すことができ、入学時からの成長に驚きました。

大切なのは、完璧な英語で話すことではなく、相手に伝えようとする積極的な姿勢です。そして、この経験を通じて得た自信と意欲を、今後の学びや生活に生かし、テストのスコアだけでなく、「使える英語」を目指して、今後の学習を進めてほしいと思います。農大二中の英語・グローバル教育では普段から英語を使い、英語を使うことが特別ではなく、自然なことと感じられるように、これからも多くの機会を提供していきます。どんどん英語を伸ばしていこう！以下は生徒たちのEnglish Campの様子です。

一日目 Tokyo Global Gateway

1. 外国人講師たちとの出会い



2. 授業の様子



二日目 エスコート 東京観光



農大二中生徒たちの活躍

11月24日(日)ALSOKぐんまアイスアリーナにて行われました、第76回高崎市民スポーツ大会(スケート中学女子の部)において、本校1年生の山口杏さん(高崎市立東部小学校出身)が見事優勝しました！山口さんは来年2月に行われる、都市対抗大会に出場します。おめでとう！！



そして、話題は科学の甲子園です。9月14日(土)に科学の甲子園ジュニアの県大会が開催されました。本校の新井優太くん、堀田怜那さん、片山凛珠さんが群馬県大会での優勝を果たしました。そんな生徒たちもいよいよ12月13日～15日に兵庫県で行われる全国大会に参加します。忙しい中、放課後残って対策をしています。悔いの残らないよう、全力を尽くして頑張ってくださいと思います。

ある村の長老が若者たちにこう話しました。「一本のろうそくは、自分が燃え尽きるまでに多くのろうそくに火を移せる。そして、その移された火はまた新しい火を灯し続ける。火を灯すことで、その明かりは村全体を照らし、皆を温めるのだ」これは、ひとりの努力や熱意が周りに影響を与え、さらなる努力や情熱を生み出す力を象徴しています。農二生の皆さんの頑張る姿も、きっと周りの仲間になやむ気や勇気を与えるでしょう！さあ、Take Action!

NI探究もいよいよまとめ・発表！

12月に入り、2年生は1年半の探究の成果のまとめに入りました。また1年生は今後の探究のための計画書づくりをしています。2年生との意見交換が今後行われますが、多くのアドバイスをもらい、今後の探究に活かしてください。また、1月中は、班内での発表会のリハがあります。そして、2月には3月の全体発表会での代表者を決める班内での発表会があります。時間があるときに準備を進めていきましょう。代表班に選ばれても、選ばれなくても、3月15日(土)のNI探究の成果発表会では全員が発表することになりますので、しっかり準備を進めていきましょう。また3月15日(土)の探究の発表会には保護者の方も参加できますので、都合がございましたら、是非ご参加をお願いいたします。

今後の予定

12月13日(金)	中1、中2 弁当の日 自分でお弁当を作りましょう！
12月19日(木)	中1、中2 Science Competition 1年、2年
12月21日(土)	2学期 終業式
1月 8日(水)	1限 3学期始業式 2限 LHR *3限から通常授業
1月10日(金)	自宅学習日 *敷地内立入禁止
1月11日(土)	高校推薦学業特待入試 *敷地内立入禁止
1月15日(水)	中2 5、6限 職業人インタビュー